

新型コロナウイルスに関する情報について ▶

神様が呼ぶ方へ☆きくれの神社紀行

こんにちは、紀行作家の保志喜久鈴(ほしきくれい)です。居住地の京都を中心に日本全国の神社や神様を勉強しながら参拝記録を書き綴っています。

ブログトップ

記事一覧

画像一覧

< 宇多秋宮・阿紀神社 ...

氣比神宮☆総鎮守はい... >

御室嶺上宮・大神神社～狹井神社 元伊勢めぐり神社紀行：第7日

2021年03月04日(木)

テーマ：元伊勢めぐり神社紀行 ▶

☆両雄鎮まる御神体山へ☆保志喜久鈴の神社紀行



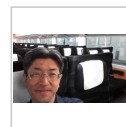
※前回の元伊勢めぐり神社紀行

御室嶺上宮・大神神社～狹井神社
元伊勢めぐり神社紀行：第7日

令和2年12月28日、
GOTOキャンペーン中断。

明けて令和3年1月には
緊急事態宣言が再発令。
京都府も区域に入ります。

プロフィール



保志☆喜久鈴

プロフィール | ビグの部屋

性別：男性
誕生日：1968年11月25日
血液型：B型
お住まいの地域：京都府
自己紹介： こんにちは、紀行作家の保志喜久鈴(ほしきくれい)です。居住地の京都を中心に日本全国の神社や神様を勉強... [続きを見る](#)

ランキング

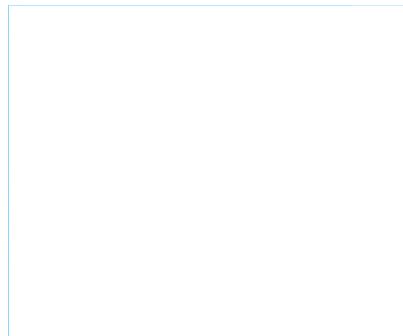
全体ブログランキング 268,672位 ↑
小説・エッセイ・ポエムジャンル 1,548位 ↑

フォロー

アメンバーになる

メッセージを送る

AD



Amebaからのお知らせ



次へ
前へ
コメント
する
コメント
(0)
記事一覧
上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について



元伊勢めぐりはこの後
大神神社から奈良～三重と
近鉄沿線の神社詣りに。

近鉄がお誂え向きのきっぷを
2月末まで販売しており

“近鉄全線3日間フリーきっぷ”

三日連続、全線乗り放題。
それで3,000円は破格です。

連日の三往復はキツそうですが
絶好の機会を逃すのは勿体ない。

“コロナ慣れ”
“気の緩み”

と云われればそれ迄ですが
精神衛生には代えられません。



令和3年2月11日(木・祝)10時前。
桜井駅から国道に出て
北へ30分弱歩きます。

建物が途切れるたびに
三輪山が秀麗な姿を見せます。

この御神体山こそ
吉備国名方濱宮の次に、

豊鋤入姫命がアマテラスを
二年間奉斎した御室嶺上宮です。
(みむろみねのかみのみや)

元伊勢めぐり神社紀行：第9日後編

妙見道ってどんな道？ ☆六地藏発 近所さんぽ
市守宮・宇流富志禰神社～蛭子神社 元伊勢めぐり
神社紀行：第9日前編

猿田彦神社 ☆保志喜久霊の神社参拝記(ミニ)
佐佐波多宮・磯畑神社 元伊勢めぐり神社紀行：
第8日後編

川田道ってどんな道？ ☆六地藏発 近所さんぽ
憂さやウツっ気をどう祓う？ 吉利俱八幡宮～合
流点 ☆六地藏発 近所さんぽ

宇多秋宮・阿紀神社 元伊勢めぐり神社紀行：第
8日前編

御室嶺上宮・大神神社～狭井神社 元伊勢めぐり
神社紀行：第7日

一覧を見る
画像一覧を見る

テーマ

ブログ (15)

神社紀行 (22)

京都 ☆日帰り神社紀行 (54)

滋賀 ☆日帰り神社紀行 (4)

大阪 ☆日帰り神社紀行 (9)

兵庫 ☆日帰り神社紀行 (9)

東京出張 ☆神社紀行 (5)

神社紀行外伝 ☆大河ドラマ紀行 (10)

神社紀行外伝 ☆絶叫マシン紀行 (4)

山梨出張 ☆神社紀行 (1)

再生復活祈願 ☆福岡神社紀行 (5)

愛知 ☆日帰り神社紀行 (2)

信州出張 ☆神社紀行 (4)

青森出張 ☆神社紀行 (1)

栃木出張 ☆神社紀行 (4)

新潟出張 ☆神社紀行 (1)

石川出張 ☆神社紀行 (1)

神社紀行外伝 ☆茨城水戸の魅力を探索せよ (6)

鉄道の度 ☆バスの旅 (1)

茨城出張 ☆神社紀行 (1)

和歌山出張 ☆神社紀行 (4)

お伊勢さん巡礼 ☆神社紀行 (18)

和歌山 ☆日帰り神社紀行 (1)

奈良 ☆日帰り神社紀行 (3)

初めての神社紀行 (5)

島根出張 ☆神社紀行 (2)

広島出張 ☆神社紀行 (2)

神社紀行外伝 (4)

元伊勢めぐり神社紀行 (13)

熊野三山神社紀行 (5)

福井 ☆日帰り神社紀行 (1)

六地藏発 近所さんぽ (4)

神社参拝記(ミニ) (1)

次へ

一覧を見る

前へ

コメント

する

コメント

(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >



路地に入り大和川を渡って
まもなく旧道に出ると
大神神社の一之鳥居前。

旧道の名は三輪街道といい
徒歩の参詣が当たり前の時代は
ここが玄関口だったのでしょう。

少し寄り道して旧道を西へ。
車道をまたぐ鉄製の大鳥居が
聳え立つのが見えます。

車社会には相応しいのですが
古い映画“大魔神”を思わせます。



数分も掛からず摂社綱越神社。
ご祭神は祓戸大神の四柱で、

瀬織津(せおりつ)姫神
速開津(はやあきつ)姫神

気吹戸主(いぶきどぬし)神
速佐須良(はやさすら)姫神。

記紀には登場しませんが
あらゆる罪穢れを祓い去る
強力な神々で

2021年07月 (1)
2021年05月 (3)
2021年04月 (3)
2021年03月 (3)
2021年02月 (3)
2021年01月 (5)
2020年12月 (4)
2020年10月 (3)
2020年09月 (3)
2020年08月 (3)
2020年07月 (3)
2020年06月 (5)
2020年05月 (4)
2020年04月 (5)
2020年03月 (4)
2020年02月 (4)
2020年01月 (5)
2019年12月 (4)
2019年11月 (4)
2019年10月 (4)
2019年09月 (4)
2019年08月 (5)
2019年07月 (4)
2019年06月 (4)
2019年05月 (4)
2019年04月 (5)
2019年03月 (6)
2019年02月 (7)
2019年01月 (9)
2018年12月 (5)
2018年11月 (11)
2018年10月 (13)
2018年09月 (11)
2018年08月 (14)
2018年07月 (19)
2018年06月 (18)
2018年05月 (10)

一覧を見る

カレンダー

<< 11月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

このブログのフォロワー

フォロワー: 36 人

hikarinowa-osakaさん
ひかりの輪大阪教室のブログ

kurukuruhouseさん
どんな願いも全部叶う！

4949gmailさん

Happyマヤ暦 福岡県福津市 楽しく自由に…

nagareboshi-ruriroさん
さいたま復縁の悩みを数秘とタロットで解決…

yousunyoyoさん

まゆみまきのお仕事日記

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

10月1日に御祭の参拝の予定は
続けて天津祝詞を唱えます。

ご本殿脇には注連縄で
囲われた小さな磐座。

みぞおち辺りに
ズンとした感覚。



一之鳥居を過ぎると
まもなく車道と合流。

参道脇の駐車場から流入する
参拝客は結構な数です。
屋台も並んでいます。

今日は建国記念日。
しかも奈良県は
宣言区域外です。

例年とは比較にならない人出でも
二之鳥居からは“密”を気遣います。

参道にも末社祓戸神社があり
こちらは行列が伸びています。

旧例に依り祓われたお蔭で
勿論、列には加わりません。



このブログを検索する

RSS

※著作権についてのご注意

AD

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >



御社頭に立ってみれば
いつ来ても見惚れてしまう
圧倒的な構えの拝殿です。

この拝所で社会的距離は不可能。

お賽銭して五歩下がってから
ようやく拍手を打ちます。

ご本殿はなく
三輪山を御神体として
拝殿後ろの三つ鳥居で斎き祀る
古い祭祀形態を残すといえます。



ご祭神の大物主大神は
大国主神の幸魂・奇魂。

国譲り神話よりも先に
出雲の国津神がこの地に
鎮座されていたワケです。

御室嶺上宮の“御室(みむろ)”は
もちろん三輪山を指します。

その“嶺の上”のお宮ですから
アマテラスを奉斎した二年間は、

**天津神と国津神のトップが
同じ御神体山に同居する形。**

御巡幸の物語に
この記事を押し挟むことで

両勢力の

“和合”“融和”

を強調したかったのでしょうか。

次へ

前へ

コメント

する

コメント

(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >



末社天皇社にご挨拶に上がります。
元伊勢めぐり初日に訪れた処で
ご祭神は崇神天皇。

倭笠縫邑でアマテラスの奉斎を
豊鋤入姫命に命じたお方です。

一年近く経って
ようやく最初のひと廻り
を終えた旨をご報告します。

ご社殿は小さな丘の上にあり
元々風が吹きやすいのですが、

“結構愉しんでおるではないか”

ご祭神に揶揄われた気がします。



初日に歩いた山の辺の道を5分、
今日は古道ではなく狭井神社へ。

正式には狭井坐大神荒魂神社。
(さいにいますおおみわあらみたま)

つまり大物主大神の荒魂がご祭神。
その力強いご神威により薬の神・
病氣平癒の神とされています。

境内右側には三輪山登拝口。
なぜか茅の輪になっています。

狭い分だけ御社頭の混雑は
大神神社の比ではありません。

ご神徳や登拝が目当てとはいえ
ここではご祭神がウィルスさえ
吹き飛ばすのでしょうか。



次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

を外す訳には参りません。

戸惑いながら2回並んで
まず申込書を受取って書き込み、

次に登拝料を払い
禪と御幣を受取りますが
オペレーションに一工夫ほしい処です。

ともかく禪を首にかけ
御幣で左右の肩を祓い
急峻な登拝路に挑むのですが、

本来、御神体山は禁足地。
一木一草に至るまで
神が宿っています。

草木・土・石の採取は
おろか写真撮影も禁止。



(狭井神社・大神神社公式HPより)

信者に限り登拝が
許されるタテマエなので
詳細を記すのは控えますけれど、

幅員が狭い箇所も多く
そこで下山者と行き会うと、

あうんの呼吸で道を譲る側が
ひとりでに決まるのです。

譲られて御礼を告げると
すれ違いざまに

“こんにちは～”
“頑張ってください～い”

下山者はニコニコ。
登拝者は青息吐息。

とはいえ、

ホンモノの信者かはともかく
同じご祭神の下に集う者同士。

“和合”“融和”

そんなご神徳を想うのでした。

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

もし楽しんで頂けたら
ぜひフォローして下さいね！



(下山後、狹井神社にて記念撮影)

・

※ご参考

大神神社公式HP

<http://oomiwa.or.jp/>

・

※関連レポ

前回の元伊勢めぐり 名方濱宮・伊勢神社～吉備津神社

<https://ameblo.jp/kikurei-jinjakikou/entry-12656664415.html>

元伊勢めぐり第1日後編 山の辺の道～檜原神社

<https://ameblo.jp/kikurei-jinjakikou/entry-12590309877.html>

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

< 宇多秋宮・阿紀神社 …

氣比神宮☆総鎮守はいい… >

< 宇多秋宮・阿紀神社 …

氣比神宮☆総鎮守はいい… >

ブログトップ

記事一覧

画像一覧

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

次へ

前へ

コメント
する

コメント
(0)

記事一覧

上に戻る

新型コロナウイルスに関する情報について >

次へ

前へ

コメント
する

Copyright © CyberAgent, Inc. All Rights Reserved.  コメント
(0)

 スпамを報告  お問い合わせ  利用規約  アクセスデータの利用  特定商取引法に基づく表記  へ

記事一覧

上に戻る